

令和8年2月20日

社会福祉法人のぞみの家福祉会
児童発達支援センター ひまわり学園 中核機能に関する取り組みについて

1 児童発達支援センターひまわり学園実施事業、および法人内連携体制について
当センターでは、以下の事業を実施しています。

- 児童発達支援センター ひまわり学園
児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業
- 相談支援センターひまわり
障害児相談支援事業 ※ひまわり学園併設。計画相談以外の相談にも対応。

また、当法人では以下の事業を実施し、法人内での連携体制をとっています。

- にしぞのこども園
こども園 ※ひまわり学園と併設。医療的ケア児も通園。
- すまいるキッズいじみの
放課後等デイサービス事業・児童発達支援事業
- さんさん館 i
放課後等デイサービス事業（重症心身障がい児対象）
- 相談室みらい
障害児相談支援事業

各事業で連携して、未就学から就学後のお子さんまで対応できる体制を確保しています。
また、発達障がい・知的障がいのあるお子さんから重症心身障がい・医療的ケアのあるお子さんまで、幅広く支援しています。

2 中核的機能に関する取り組みについて

中核機能①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援

(1) 児童発達支援センターひまわり学園の配置専門職

児童指導員、保育士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師、社会福祉士
精神保健福祉士、介護福祉士、相談支援専門員、医療的ケア児等コーディネーター

当センターでは上記の職種が連携し、多様な特性があるお子さん、およびそのご家族を支援する体制を整備しています。(1日療育、90分療育、個別リハビリを実施)

(2) ご家族支援

今年度はご家族支援として、以下のプログラムを実施しました。

①保護者同士の茶話会、ランチ会、先輩ママから話を聴く会

- ②パパスクール（メディアとの付き合い方に関する講義、子ども達と遊ぶ機会の提供）
- ③就学相談説明会（新発田市教育委員会相談員より就学に向けての説明）
- ④親子行事（遠足、パン作り教室、ミュージックケア）

中核機能②地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能

（１）地域向け研修会の実施

市内放課後等デイサービスに対して、ひまわり学園 公認心理師が講師となり、「自閉症スペクトラム症の特性理解と支援の実際」と題して、90分の研修を実施しました。

34名の地域の方々の参加があり、紹介した文献や具体的なスケジュールの作り方などを翌日にすぐに取り入れた、という声も聴かれています。次年度以降の開催や、市内放課後等デイサービスへ見学・アドバイスに来てほしいと助言を求める声もあがっています。

（２）保育所等訪問支援事業の訪問先の増加

現在、保育所等訪問支援事業の訪問先は6園に増加、園より支援を求められた事例もあります。

中核機能③地域のインクルージョン推進の機能

（１）にしどのこども園との連携

にしどのこども園に所属しつつ、療育を受けられる体制を確保しています。

（２）併行通園の推進

次年度入園児について、ひまわり学園（1日療育）を週3日程度とし、現在所属している園での保育も継続できるよう、相談支援センターひまわりが中心となって調整し、当該園のご理解・ご協力もあって併行通園を実施することとなりました。

中核機能④地域の発達支援の入口としての相談機能

（１）相談支援センターひまわりの設置

今年度より、相談支援センターひまわりを設置したことで、お子さんの発達に戸惑いをもつご家族からの相談も少しずつ来ています。多職種と連携し相談をお受けしています。

（２）他機関との連携増

相談支援センターひまわりが設置されたことにより、他機関との窓口が明確化され、これまで以上に様々な機関とやりとりをする機会が増えました。（保健・医療・教育 等）